

◆ 令和6年度 部長マニフェスト ◆ 地域包括ケア・健康づくり推進担当部長

部の概要			
所属課と人員 (R6.4.1現在)	(健康福祉部に含む)	一人	

部の運営方針
 市民やまちのウェルビーイングのため、市民や関係機関と連携しながら、ソフト、ハードの両面からの社会資源としての創造を図り、健康を支えるシステムを共に創っていきます。また、市民が積極的に健康づくりに取り組むことを支援し、日常生活の中に無意識に健康づくりを取り入れられるよう図っていきます。
 高齢者等が、住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、高齢者の支援、支援者の後方支援、地域づくりに取り組んでいきます。
 災害時における医療救護活動において、より具体的かつ実効性を確保するため、関係機関と協議し訓練等を推進していきます。

令和6年度の重点項目

No.	項目	具体的内容	達成状況(年度末評価)	達成度
1	健康まちづくりの推進	令和5年度に策定した「健康まちづくりプラン」に基づき、健康行動によりデジタル地域通貨ポイントが得られる健康ポイント事業を実施します。また人と人とのつながりを意識したデジタルデバインド対策も行っていきます。 居心地のよいウェルビーイングなまちづくりを実効的に推進するため庁内横断的に協創する体制を構築していきます。 国立市健康まちづくりプランを市民及び事業者等にむけて周知普及していきます。 令和7年度の健康増進計画(第3次)策定およびがんアクションプラン更新にむけて市民調査等準備を進めます。		
2	地域包括ケアのさらなる推進	認知症総合事業として、認知症初期集中チームや認知症の方の安心や活躍につながるチームオレンジの取り組みについて、関係機関と連携を図りながら展開していきます。 在宅医療・介護連携事業として、在宅療養推進連絡協議会および新たに再編した4つの部会で課題を検討し、推進していきます。 生活支援体制整備事業として、くにたち福祉サポーターが地域で活躍できる体制を整備し、様々な生活の支援、居場所づくりに関わり、市民の活動を発展させていきます。		
3	予防接種(高齢者)に関する施策の推進	新型コロナウイルス感染症が定期接種となることや肺炎球菌ワクチンの接種対象者の変更、開始されて間もない帯状疱疹ワクチン任意接種など各種予防接種についての体制整備を行い、市民へのわかりやすい周知を図っていきます。		
4	災害時医療救護活動マニュアルに基づく訓練等の推進	令和5年3月に策定された「国立市災害時医療救護活動マニュアル」に基づき、国立市医師会、歯科医師会、薬剤師会と協議し、災害医療コーディネーターを含めた訓練を関係部署と連携を図り、実施していきます。		
5	専門職(保健師)の人材育成	保健師の人材育成の指針となる「(仮)国立市保健師キャリアラダー」を東京都多摩立川保健所と合同で、庁内保健師連絡会で検討し作成していきます。		

【達成度】 A…100% B…80%以上100%未満 C…50%以上80%未満 D25%以上50%未満 E25%未満